

【複本館長からのメッセージ】

あっ!!と言う間に年末、2016年も後わずか。2017年！トリ年がやってきます。皆さんがこれを読むころには、「本年もよろしくお願ひ申し上げます」となっていると思います。「鳥」というと、今はインフルエンザが何かと話題ですが、この時期は我々も一年間の疲れがたまっている時！！体調管理には十分気を付け新しい年を迎えましょう。さて、2016年の一文字は「金」でしたが、金と言えばオリンピック。という事で、2020年の東京五輪に向け夢の島の会場整備も着々と進んでいますが、この先まだ変化を遂げる夢の島公園を見守ってください。熱帯植物館はというと、例年のごとく、初開館は1月4日から恒例の「新春福引き」・「干支の植物展」・「多肉植物展」でスタート！！p(^o^)q 鳥にちなんだ植物を見て、福引で運を引いて一年間をスタートしましょう！！館長



季節イベントの紹介（イベント・展示担当：関）

2017年植物館イベントは4日の「新春・福引き大会」で幕を開けます。また、企画展は多肉植物にスポットを当てました。にわかにブームが沸き起こっておりインテリア関連の店舗や各種媒体でも取りあげられることが多くなりました。初心者からマニアの方まで楽しめる「夢の島 多肉植物展」を開催します。週末には国際多肉植物協会の方に協力いただき「多肉植物の即売会&栽培相談会」も予定しています。今年も植物館でお楽しみください！！

【企画展】「夢の島多肉植物展」(1/4~1/29)

※関連イベント「多肉植物の即売会&栽培相談会」(1/14、15、28、29)

「干支の植物展」(12/27~1/29) 「カカオ&チョコレート展」(1/31~2/26)

【1月のイベント】「新年・福引き大会」(1/4、5) 「ウィークエンドコンサート」(1/7、21)

「ハーブの学校」(1/8) 「森の学校」(1/14) 「ラン大賞」(1/11~2/12)

「新春トロンボーンコンサート」(1/15) 「新春・熱帯豆まきまつり」(1/28、29)

★詳しくはイベントチラシまたは夢の島熱帯植物館までお問い合わせください。

館内で見られる植物の紹介（植物館植栽担当：横平）

植物館では一年を通して、必ず展示している花卉の一つにアンズリウムがあります。一般的にいう「アンズリウム」とは園芸上の総称で、アンズリウム属に属する植物全体を指しています。

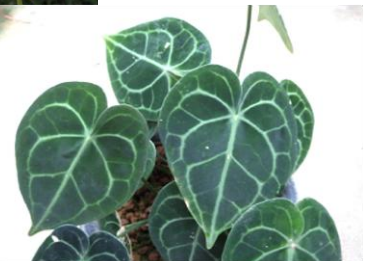
アンズリウムは西インド諸島と中央アメリカから南アメリカのパラグアイ以北に、約1,000種が分布していると言われてます。常緑宿根草で、茎はつる状、地面から木や岩にはい上がる半着生植物です。しかし時に茎が木質化することもあり、その形態は多様です。光沢のある色鮮やかな花のような部分は、実際は花ではなく中ほどにある肉穂花序を包む仏炎苞と呼ばれる部分です。同じサトイモ科のミズバショウやモンステラのように肉穂花序を包み込むようにはならず、初めは肉穂花序を包んでいますが、開花すると広がるか反り返ってしまいます。

仏炎苞から尻尾のように花序が出ている姿から、英名で「テイルフラワー(Tail flower)」とも呼ばれ、アンズリウムの語源もギリシャ語の「花(anthos)」と「尾(oura)」に由来しています。その他にも、「フラミンゴフラワー(Flamingo flower)」というフラミンゴの立ち姿に似るところからつけられた名前もあります。



◀ アンズリウム
(サトイモ科)

▼ 葉を觀賞するアンズリウム・クラリネルビウム



今月の花と実



▲ ドンベヤ・ウォリッキー



▲ アメリカシャガ



▲ バンクシア・エリキフォリア

♪ この時期の人気者 ♪

いよいよ酉年。鳥にちなんだ植物を少しご紹介いたします。まずは日本の固有種山鳥に似た黄色い幹肌が印象的な「ヤマドリヤシ」。孔雀の尾羽に似た、「子持ち孔雀ヤシ」。サボテンの「宵待孔雀」。そのほか、葉の色が赤くなるもの、形状から、「フラミンゴ」の名がつくもの。ペリカンの名がつくもの。様々な鳥にちなんだ植物が、今年の干支展に登場中。よい新年を！

【サトイモ科】
一杯無料
1/4~1/31